

目 標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。
-----	---

●学習内容

1 学期	20 時間	2 学期	28 時間	3 学期	22 時間
<b>第 1 章 鍵盤楽器によるコードの学習</b>	15	2 多くの楽器を用いての合奏②	5	4 実践練習②	7
1 音名(英米)の確認		<b>第 3 章 楽典</b>	8	5 発表会	
2 三和音の構造		1 音程、音階、調号、関係調		<b>第 6 章 音楽史の学習</b>	15
3 コードの実践		<b>第 4 章 ギター(弾き語り)</b>	8	1 時代的特徴	
4 メロディーとコードを合わせる		1 コードの学習		2 鑑賞	
<b>第 2 章 合奏</b>		<b>第 5 章 自由課題の取り組み</b>	7		
1 多くの楽器を用いての合奏①	5	1 選曲とメンバー決め			
		2 楽譜の手配			
		3 実践練習①			

教材
教科書:「MOUSA2」(教育芸術社)

授業の進め方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽等演奏においては、ポップスやクラシックなど幅広い音楽を扱う。</li> <li>・仲間とのコミュニケーションを大切にする。</li> <li>・実技を伴うものは単元ごとに実技試験を行う。また1・2学期は授業内で筆記試験を行う。</li> <li>・単純に演奏するだけではなく、考えたり話し合ったりする活動もある。</li> </ul>

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる(できる)	楽曲の文化的・歴史的背景や構造と、曲想との関わり及びその多様性について、音楽活動を通して理解している。	音楽的な見方や考え方を働かせて、音楽表現を創意工夫し、表現意図を持っている。	音楽活動の喜びを味わい、主体的、協働的に学習に取り組んでいる。
	習得する(わかる)	楽表現を創意工夫したり、自分の表現意図を音楽で表現したりするために必要な器楽演奏の技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽的な見方や考え方を働かせて、楽曲の演奏を解釈したり、生活や社会における音楽の価値を考えたりして、音楽の良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	自らの学習状況を把握し、それを踏まえ試行錯誤するなど、自ら学ぼうとしている。
評価方法	実技試験 授業内筆記試験 練習の取り組み他授業観察	実技試験 授業内筆記試験 練習の取り組み他授業観察	自由課題発表 プリント提出 練習の取り組み他授業観察	

## 単元別 評価規準

### 第1章 鍵盤楽器によるコードの学習

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	コードネームを理解し、鍵盤上で実践できる。	メイジャーコードとマイナーコードの違いを理解できる。	取り上げた曲以外にも応用できる。
	習得する (わかる)	メロディーとコードの関係を理解している。	指定されたコードを展開し演奏している。	指定されたコードを基本的に3本指で押さえている。

### 第2章 合奏

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	指定された楽器を楽譜通りに、リズムなどに留意し演奏できる。	アンサンブルの楽しみを味わうことができる。	意欲的に合奏に取り組むことができる。
	習得する (わかる)	正確に旋律やリズムを捉えている。	楽しく合奏にかかわっている。	丁寧に楽器を扱っている。

### 第3章 楽典

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	音程、音階、調号、関係調について正しく理解できる。	移調や転調についても理解できる。	理解しようと意欲的に取り組むことができる。
	習得する (わかる)	楽典の内容について、理解しようと努力している。	学習内容について、正しく答えようとしている。	楽典全般の知識について、理解しようとしている。

### 第4章 ギター(弾き語り)

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	指定されたコードを正しく押さえることができる。	スムーズにコードを連携して演奏し、歌と合わせるができる。	ダウンストロークのみならず、奏法にも工夫し演奏することができる。
	習得する (わかる)	幾つかのコードを正しく押さえようと努力している。	コードを連携しようと努力している。	意欲的に弾き語りができるよう努力している。

### 第5章 自由課題の取り組み

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	選曲から練習に至り意欲的に取り組むことができる。	アンサンブルを楽しむことができ、正確に演奏することができる。	グループで協力しながら演奏に取り組むことができる。
	習得する (わかる)	積極的に練習に取り組んでいる。	メロディーやリズム等を正しく演奏しようとしている。	ハーモニーのバランスを考えて演奏している。

### 第6章 音楽史の学習

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	音楽史について時代的な特徴などを正しく理解することができる。	音楽史の内容について、時代的な特色等をまとめることができる。	作曲家による特色などを理解することができる。
	習得する (わかる)	音楽史の概要を理解しようとしている。	学習内容について、意欲的に理解しまとめようとしている。	作曲家の活躍した時代や演奏の特色を理解しようとしている。